

地域精神保健福祉コミュニティ一誌

ぱる通信

Jun. 2012
No. 178
6

特集

『障がい者雇用から始める ダイバーシティーの実現
～「ベネッセビジネスメイト」の取り組み』



特集：『障害がい者雇用から始める ダイバーシティーの実現 ～「株式会社 ベネッセビジネスメイト」の取り組み～』

—「特例子会社」を始めた

きつかけを教えて下さい。

松本氏——二〇〇三年、ベネッセコーポレーションの人事と総務の責任者だった時、障害者雇用率を見て愕然としました。ものすごく低い数字ではなかったのですが、一・八%に達していかつたんです。他のグループ会社も同じでした。その時、「ベネッセ」＝「人が良く生きる」事を応援する会社だという理念を掲げているのに、実践できておらず、恥ずかしい思いでした。そこで、トルツメ、「ベネッセコーポレーション」で達成できるよう、障がい者雇用に力を入れて行きました。しかし、一方で、会社の業務内容が、教材の企画やマーケティングが中心だったため、難しいのでは…という不安も確かにあり、万が一、難しい場合は、「特例子会社」を立ち上げる方が良いのでは…という思い

「株式会社 ベネッセビジネスメイト」は、障がい者雇用の促進を目的とした「株式会社 ベネッセホールディングス」のグループ会社の一つである。東京と岡山に事業所があり、現在、従業員数は一六九名。雇用している障がい者の数は、知的障がい五十九名、精神障がい十二名、身体障がい三十二名の、計一〇三名の障がい者を雇用している。

現在、当事業所からも二名の方が就労中。三年前より、毎年、短期間の業務委託を受けていたが、今年度より、「多機能型事業所 あすなろ（就労移行支援事業所）」の「施設外就労先として活用させて頂いている。県内でも数少ない「特例子会社（※）」を設立した経緯や、現在の障がい者雇用の状況、今後の展望などについて、当時、代表取締役社長であった松本芳範氏（現在はベネッセホールディング 常勤監査役）や、所長 山川ちぐさ氏、クリーンサービス部門南方拠点責任者 岡本和枝氏にお話を伺った。

【ベネッセビジネスメイト 企業理念】

1. ベネッセビジネスメイトは働く意欲のある障がい者に対し積極的に雇用の場を創出・提供する。
2. 社員一人ひとりに必要な教育訓練を継続的に行い、社員一人ひとりが自らの成長を実感できる職場を作る。
3. 社員はお互いに一人ひとりの個性や障がい特性を理解し認め合い、仲間と協力して仕事ができる風土を作る。
4. 以上により、自らのベネッセ（よく生きる）を体感しながら自立して生きられる社員を増やすことで社会に貢献したい。

もありました。ちょうどその時、東京本部の人事部に、特例子会社を立ち上げていた「日本航空」から出向して来ている社員がいたので、そこの方のコネクションを活かして、色々勉強させてもらいましたながら、しばらく様子を見ていました。しかし、トルツメの業務内容と、様々な障がい特性とのマッチングが上手く行かず、中々、採用は進みませんでした。

そこで、一〇〇四年、経営会議や取締役会に起案し、承認を受け、一〇〇五年二月、特例子会社を設立。四月から事業を開始しました。第一目標は、最低限、グループ全体での雇用率達成。その次は、中核会社の「ベネッセコーポレーション」、次は他のグループ会社も、それぞれで達成できるように…と、自分の中で目標を描いていました。



ベネッセホールディングス
常勤監査役
松本 芳範氏



—どのようにして、

業務を創り出して行つたのですか？

松本氏——まずは、総務部の仕事、特に外注している仕事をやってもらうのが、すぐにできるのではないかと考えました。その他、ビルの清掃や管理、社内メールの配達などの業務を行いました。当時、清掃は、外部業者に入つてもらつていましたが、「障がいのある若者にも、働くチャンスを与えるたい」という思いを伝え、理解してもらい、契約の終了を行いました。

業者との契約は終了しましたが、現場で働いていた方には引き続き、「ベネッセビジネスメイト」で障がいの方への指導をしてもらえるよう依頼し、了承してもらえたので、その方達も職を失わずに済みました。現在も、三名の方が引き続き働いてくれています。

—やつて良かつたと思えた瞬間は？

松本氏——設立一年後に開催した「感謝会」に、障がい者の親も招待してはどうかと提案しました。来てくれるかどうかは分からなければ、こちらの気持ちとしては、障がいのある子を持つ親として、自分の子どもが、どんな所で働いているのか気になるのでは？という思いがありました。また、親亡き後、自分で生きていくのか…という心配が高まる中、働いている姿を見せられれば、親も安心できるのでは…とい

う思いもありました。参加された方たちからは、「自分の子どもがどんな所で働いているのかよく分かり、安心できた。とても嬉しい」と言ってもらつた事がとても嬉しかったですね。やつて良かったと、つくづく思えました。

また、ビジネスメイトの従業員たちは、とにかく挨拶をしつかりするんです。そこをベネッセの社員たちが褒めたり、「ありがとう」という感謝の気持ちを、持てるようにもなりましたね。

—あすなろの「施設外就労先」として

受け入れて下さったきっかけは？

山川氏——以前は、個別対応に追われたり、業務自体をきちんとすると事に精一杯だったのが、三年前より落ち着いて来て、色々な所に見学や研修へ行き、もっと自分たちも社会や地域に対して出来る事があるんじやないかという思いがありました。同時に、春先の落ち葉清掃に困っていた事もあって、外部の人に頼むのであれば、地域の施設や、これから働く事を目指す人たちにお願いしたかったんです。



ベネッセビジネスメイト
岡山事業所 所長
山川 ちぐさ氏

また、それまで、知的・身体障がい者の採用が中心でしたが、「様々な障がいのある人が働ける会社にしたい」という思いもあり、「ステップアップ雇用制度」を利用して、精神障がい者を雇つた事もきっかけでした。最初、何も分からぬ中で始め、上手く行つたケース、行かなかつたケースがあり、何が上手く行かなかつたのか振り返つた時、支援体制がきちんとしないと難しい事が分かり、そこから、精神保健福祉分野の支援者との関わりが少しずつ出来始めました。

そして、何よりも、初めてあすなろにお願いした三年前、利用者の方にとても感謝された事が嬉しく、また頼みたかったのもありましたね。

岡本氏— それまで、頑張る姿や、働くのが当たり前と思っていた中で、たつた二時間だけ、

そこに至るまでの大変さや、充実感を感じてくれた事を初めて知り、こうやってステップを踏みながら自信を付け、就労に向かつて行く経過というのを全く知らなかつたんです。先日、施設外就労で来てくれる利用者の方の「外に出る機会を与えてくれてありがとうございました」という言葉はとても衝撃的で、こういった機会がなければ、絶対に聞けない言葉でした。ここでの体験が役に立つて、次のステップに向けて羽ばたけたという話を聞ける事も、嬉しいやりがいになりますね。



ベネッセビジネスメイト
クリーンサービス課
南方拠点責任者
岡本 和枝 氏

山川氏— 「ここで実習をする事がプレッシャーだった」という人から、「自信が持てた」「就職活動を頑張つてみようと思えた」という言葉を頂いた時は、やり続けなければいけないと思った瞬間でした。ちょっとしたひと言、感謝の言葉、やつて良かつたという言葉が、続けたいという動機になっています。

ー 支援機関に求める事は？

山川氏— 今まで、SOSの出し方が分からず、何を伝えたら良いのか。困ったなあーと思つてゐるうちに、時が過ぎて行く事が多かつたのですが、何度も失敗して、支援機関との連携の大切さ・必要性が分かつてきました。これを言つて、もっと調子が悪くなつたらどうしよう；という思いがあつたのですが、振り返りの時の支援者の方の接し方、気持ちの汲み取り方を見て学ばせてもらつています。

山川氏— 後は、仕事以外の事につまずいて、仕事に影響が出る事が多々あります。会社では踏み込めない部分もあるので、そういう時に、



昼休憩時の一コマ

事もあるので、その後、どう対応したのか、教えて欲しいですね。そうする事で、次、同じような事があつた時に、私たちがどう対応したら良いのかが分かるので、一方通行ではなく、フイードバックしてもらいたいです。

岡本氏ー 付き合いの方が分からなかつたのは確かですね。今は、やつとMさんのケースを通じて、分かるようになりました。「何でも電話したい」と言われても、何をどう、どのタイミングでしたら良いのか分からず、今思えば、もつと言つておけば良かつた…；という事がたくさんありますね。後は、障がい者の方の思いや要望なども、遠慮せず、どんどん言つて欲しいですね。何事もコミュニケーションです。

生活面のフォローをしてもらえたなら、とても助かります。本人から、会社には言えない事もあるので、支援機関と上手く連携が取れる関係が大事だと思います。

—今後の展望は？

松本氏—今は、私の手を離れているので、あまり口出しをしてはいけないので、グループ会社は、障がい者雇用に関しては、まだまだ「ビジネスメイト」に任せすぎている状況あります。グループ全体としての雇用率は達成しているので、次は、他の子会社が達成し、グループ会社全てが、障害者雇用率を達成できる事が目標ではないでしょうか。

また、グループとして、「グローバルな会社になりたい」「多様性を尊重できる会社になりたい」と言っていますが、障がいの方は、外国人よりも、ダイバーシティ（※）の一番身近な存在。社会には様々な人がいて、コミュニケーションを取りながら、自己主張し、理解し合って行く社会を目指して行く。そういうものの先導役になって行きたい。そして、ダイバーシティの先導者になりたいですね。

山川氏—現在、難しい仕事ばかりになりつづり、人材が限定されそうになつてきているのが気になつてきている所です。しかし、就労継続支援A

型事業所や作業所のような事をするのは違うと思っています。会社として、障害者雇用率の絡みがあるので、必要な人材要件があるにしても、勤務時間や業務内容などについて、もっと幅広く、様々な障がいのある方が働く機会を与えるようになりたいです。もうすぐ十周年を迎えるので、新たなプロジェクトを考えていきたいです。



—これから「障害者雇用」を考えている企業へ

松本氏—まずは、やってみること。動き出してみるとこと。一〇〇三年の時も、「じつとしていても変えられない」という思いでした。それまでは、「特例子会社」という事を意識していましたが、このようにして設立、経営されている。特例として、会社の事業主が障がい者のための特別な配慮をした子会社を設立し、一定の要件を満たす場合には、その子会社に雇用されている障がい者を親会社や企業グループ全体で雇用しているものとして算定できる。このようにして設立、経営されている子会社が、特例子会社である。

(※) 特例子会社とは：

従業員五十四名以上を雇用する会社は、そのうち障がいのある従業員を、従業員全体の一・八%以上雇用することが義務付けられている。特例として、会社の事業主が障がい者のための特別な配慮をした子会社を設立し、組織マネジメントや人事の分野では、国籍、性別、年齢などにこだわらず様々な人材を登用し、多様な働き方を受容していくこうという考え方のこと。

(※) ダイバーシティとは：

多様性という意味の英単語(diversity)で、気持ちがあれば、動き出してみることです。それまで見えなかつた事も見えて来て、状況も変わつて来ます。障がい者雇用をするにあたつて、外部業者を断るのは…という人もいるかもしれません、退いてもらう事も誠意を持つてお

願いするしかないでしよう（笑）。とにかく、アクションを起こす事です。

山川氏—やはり、核になる人が必要だと思います。下から「何とか…」と言つても難しい。経営に近い所にいる人の思いがあると、動きが違うと思います。経営者の「やるぞ」という後押し、決意があれば、後は、現場の頑張りだと思います。

「ジョブサポートセンター

あすなろ(以下、JSCHA)における施設外就労の取り組み



ベネッセビジネスメイトにて
事前オリエンテーション

「施設外就労」とは、一般企業で働いたことがない、仕事が出来るかどうか自信がない、一人で企業実習に行くのは不安…。そういうふた方が、スタッフ同行の元、複数のメンバーと一緒に一般企業へ出向き、様々な経験を通して、一般就労への一歩を踏み出すきっかけとするプログラムである。

参加者は、「シフトを守る」「お客様に挨拶をする」「身だしなみを整える」「報告・連絡・相談の徹底」など、今後、一般就労した時に必要な事を、JSCHA内での座学だけでなく、企業内で、実際に体験する事で身に付けて行く。また、グループで行う事で、不安や緊張を和らげるという、大きなメリットである。

「施設外就労」とは、一般企業で働いたことがない、仕事が出来るかどうか自信がない、一人で企業実習に行くのは不安…。そういうふた方が、スタッフ同行の元、複数のメンバーと一緒に一般企業へ出向き、様々な経験を通して、一般就労への一歩を踏み出すきっかけとするプログラムである。



事務作業

現在は、週に二回、二時間、「ベネッセビジネスメイト」へ出向し、清掃や事務作業などの業務を行っている。さらには、仕事を行うだけでなく、定期的に、企業からファイードバックをして頂くようなシステムを取っている。JSCHAのスタッフがファイードバックするよりも、企業の方から「素敵な笑顔で仕事ができている」「とても助かっている」「ありがとうございます」と評価して頂いた方が、言葉により重みがあり、継続して行う事で、少しづつ自信が付き、求職活動への一歩を踏み出す方も多い。

ただし、この「施設外就労」に参加しないと「就労できない」という事ではなく、メンバーが自信を付けるための複数あるプログラムの一つであるため、このプログラムへの参加を希望しない方には、他の企業での実習先を開拓するなどの個別支援を行って行く。

今後は、実習可能な企業をどれだけ確保できるかが、JSCHAの課題である。

【 参加者の声 】

○ 家で引きこもっていた時より、充実している。外で働く喜びを改めて感じることが出来た。

○ 初めて一般企業で働いた。大企業で緊張したが、優しくして指導して下るので、仕事がしやすい。

○ 最初は、人の目が気になつたが、慣れて来ると自信が付き、気にならなくなつた。

○ 覚える事がたくさんあるけど、それらを少しずつ覚えて、出来るようになるのが嬉しい。

○ 今まで、あまり、挨拶をする習慣がなかつたが、ここで仕事をする事で、自然と挨拶ができるようになった。

○ 日々、清掃の仕事をしている人の大変さを実感し、感謝の気持ちが持てるようになった。



第一回 振り返りにて
修了証書授与

ベネッセ資料館 →
清掃



Job Support Center ASUNARO 事業所説明会

2012年
6月15日(金)

就労移行支援事業所「あすなろ」では、障がいのある方の、これまでの経験、興味や関心に焦点を当て、一人ひとりに合った「仕事探し」をご提案させていただきます。

今回、主に岡山市内に住まわれている障がいのある方またはご家族、支援者等を対象に、当事業所についての利用説明会を開催します。ご参加お待ち致しております。

13:00	受付開始
13:30~	開会
13:40~	事業所紹介
	体験発表
14:10~	休憩
14:25~	質問・交流会
15:00	閉会



同じ悩み・不安・目標を持った仲間がいるから頑張れる!!
・・・というあなた！ 積極的にサポートします！！



【パソコン教室】



【面接練習】



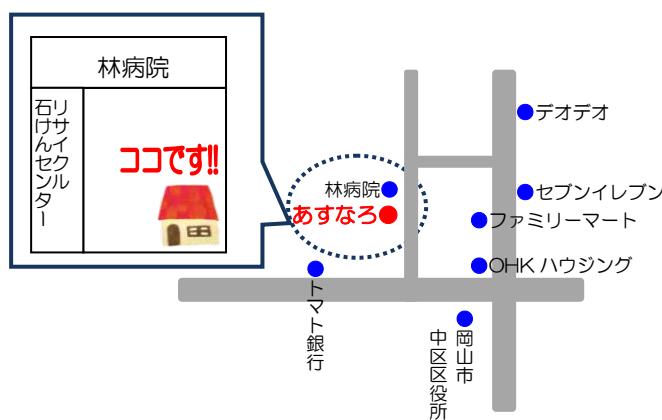
【施設外作業】
【企業実習】
【ジョブコーチ支援】



【コミュニケーション力UP講座】

MAP

就労移行支援事業所「あすなろ」の場所が変更します。



「あすなろ」は、
あなたの「働きたい！」を
応援します！！

参加希望の方は、TELまたはFAXにてお申し込み下さい。
TEL/FAX: (086) 273-9692

旭川莊厚生専門学校に

講義に行ってきました♪



心の中には無意識という
リアルな物がある
その無意識に正直になろう
そこに自分がいる
アートマンに目を向けて
プラフマンを目指そう
by タイムマシーン



ひなちゃんの4コマ



この映画のサウンドトラックアルバムは世界中で
売れて売れ、結果としてビー・ジーズも世界的な
グループとなつた。

筆者がビー・ジーズのファンになつたのは中学二
年生の時からだ。たまたまラジオから流れってきた
「恋のナイト・フィーバー」が耳から離れなくなつ
て、ラジオを聴いた数ヶ月後にお年玉を握りしめレ
コード店に駆け込んだのだった。(次回に続く。)

藤井 健喜

今年も「旭川莊厚生専門学院」にて、講師としてあすなろの取り組みとりカバリー体験談を発表して来ました。あすなろ福祉会についてやクローバーの活動の説明を行い、特に今年からあすなろのリサイクル石けんセンターが「Job Support Center Asunaro」に変わる事で、その想いや元となる都内のIPSに深く興味を持たれた学生さんも多くいらっしゃいました。

皆さん、私の病気や入院の体験談も、豊かな感性でしっかりと受け止めて下さり、質問もたくさんして下さいました。「どん底だった自分に今の自分が言つてあげたい言葉は?」という素晴らしい質問をして下さり、私がその時の自分に言つてあげたい言葉は、「悪いのはあなたじゃないよ。状況なんだ。」という事だと答えました。私自身も改めて今までの自分を振り返ることができ、貴重な体験となりました。

詳しく述べ「クローバー」のブログ
(<http://ameblo.jp/clover-spirit/>) を見て下さいね♪

(木曾)



<今月の電話相談日>

	火	水	木	金	土
AM				1	2
PM				X	X
AM	5	6	7	8	9
PM	○	X	○	X	X

☎(086)271-5689

	火	水	木	金	土
AM	12	13	14	15	16
PM	X	O	O	O	O
AM	19	20	21	22	23
PM	O	X	X	X	X
AM	26	27	28	29	30
PM	X	O	O	O	O

私事で恐縮だが、筆者は音楽でJ-ポップはあまり聴かない。聴くのはもっぱら洋楽で、中でもビー・ジーズを愛してやまない。

ビー・ジーズなんて知らないよという人も、「小さな恋のメロディ」という映画の主題歌を歌つていたグレープだと言えば、ピンと来るかも知れない。ビー・ジーズは一九六三年にオーストラリアでレコード・デビューし、アメリカでもレコード・デビューを果たしている。そんな彼らを一躍有名にしたのが映画「サタデー・ナイト・フィーバー」で使用された三曲である。「ステイン・アライブ」、「愛はきらめきの中に」、そして「恋のナイトフィーバー」だ。

「サタデー・ナイト・フィーバー」はジョン・トラヴォルタの主演で一九七七年に公開された。よく、ある物事に対して多くの人が熱狂しているさまを指して、〇〇フィーバー（〇〇にはその物事の名前が入る）といった言い方をするが、その語源となつた映画だ。

古樂日和
こがくびより





営業時間： LUNCH/11:30～14:00 (OS13:30)

BLOG : <http://blogs.yahoo.jp/asunarou59/>

発行：社会福祉法人 あすなろ福祉会

多機能型事業所 あすなろ

ぱるスペース Momo

住所：〒700-0824 岡山市北区内山下1-15-7

TEL&FAX : (086)801-2771

2012年6月号

※ 土・日・祝日はお休みです。
(金曜日の営業を再開致します。)

Momo セット MENU

6月4日（月）～8日（金）

鶏天の南蛮マヨソース

かいわれ大根のもずく和え

きのこサラダ

もやしニラ玉スープ

※ 火曜日は「ドライカレー」

6月18日（月）～22日（金）

とろ～りチーズのピーマン詰めバーグ

なめこのマスタード和え

さっぱりバンバンジー

かいわれ大根のすまし汁

※ 火曜日は「タコライス」

6月11日（月）～15日（金）

鰯のごま焼き

オクラサラダ

豆腐と梅干の和えもの

わかめとお揚げのおみそ汁

※ 火曜日は「チキンドリア」

6月25日（月）～29日（金）

にぎやか麻婆豆腐

小松菜の中華炒め

ピーマンのおかか和え

玉子のゴマスープ

※ 火曜日は「Momo オリジナル
ピリ辛鶏めし」



Momo からのおしさせ

♪ 金曜日の営業を
再開致します。

メンバーの制服も新しくそろえました。

これからも、皆さまのご来店を心より

お待ちしております。



Thanks!!



CAKE セット MENU

❖ 4日（月）～8日（木）

紅茶のパウンドケーキ

❖ 11日（月）～15日（木）

チーズケーキ

❖ 18日（月）～22日（木）

アーモンドブラウニー

❖ 25日（月）～29日（木）

チョコバナナケーキ



♪ Momo オリジナル「ピリ辛鶏めし」新登場！！

今月から新メニュー「Momo オリジナルピリ辛鶏めし」が

月に一回火曜日に登場します。

この夏、中華風味のピリ辛鶏めしをぜひ一度ご賞味下さい！！



INFORMATION —

6月の予定

1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	ギターサークル 10:30～ パソコン教室 11:00～
10	日	
11	月	
12	火	ボーリング大会
13	水	
14	木	西大寺サテライト電話相談 つどい 13:30～
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	調子はえーんじゃフェスティバル実行委員会
20	水	パソコン教室 14:00～
21	木	女子会 13:30～
22	金	
23	土	あすなろ家族の会総会
24	日	
25	月	
26	火	クローバーミーティング 13:30～
27	水	
28	木	
29	金	もも太郎杯ソフトボール大会
30	土	パソコン教室 11:00～ お抹茶教室 14:00～ ビーズサークル 15:00～

『あすなろ家族の会総会』のご案内

「多機能型事業所あすなろ」「ぱる・おかやま」に関わるご家族の方を対象に家族会総会と交流会を開催します。どこにも相談できず困っているというご家族の方、初めての参加でも結構ですので、気軽に足をお運び下さい。

日時 6月 23日（土）13:30～
場所 JSC ASUNARO（岡山市中区浜 475-6）
内容 総会・あすなろ福祉会活動紹介・交流会

※駐車場が限られている為、参加希望の方は、
TEL : 086-273-9692（あすなろ福祉会）までご連絡下さい。

- 発行:社会福祉法人あすなろ福祉会
- 〒703-8256 岡山市中区浜475-5
- 編集:ぱる・おかやま
- TEL:086-270-3322 ■ FAX:086-270-3325
- HP:<http://www.eco-asunaro.jp>

9日(土) 音楽好き同好会

ギターサークル

ギターが好きな方も、これから始めたいという方も、お気軽にどうぞ♪♪

時間 10:30～

場所 リサイクル石けんセンター

参加費 無料

10日(木) みんなで楽しくお菓子作り♪

ぱる・おやつ

今回は、『フルーツ白玉』をみんなで作ります。

お菓子作りに興味のある方、集まれ～！

時間 10:00～

場所 ぱる・おかやま 1階交流室

12日(火) ボーリングで仲間と交流しませんか！

あすなろ杯ボーリング大会

毎年恒例！あすなろボーリング大会♪

今年も皆で楽しく盛り上がりましょう！！

時間 15:00～17:00

場所 岡山フェアレーン

参加費 300円

21日(木) おしゃべり好きな女子集まれ～！

女子会♪

今回は、岩盤浴に行こうと思います（^ー^）

癒しの空間でリフレッシュしませんか！！

時間 13:00 ぱる・おかやま集合

9日(土)・20日(水)・30日(土)

パソコン教室

パソコンの操作が分からなくても、一人ひとりに合った教室を行っています。

時間 9日・30日(土) 11:00～

30日(水) 14:00～

場所 ぱる・おかやま 2階

参加費 無料

30日(土) お点前にチャレンジしませんか？

お抹茶教室

おいしいお抹茶とお菓子を頂きながら、楽しく作法も勉強できます。ご参加お待ちしています♪

時間 14:00～

場所 ぱる・おかやま 1階交流室

参加費 100円

毎週火曜日やってます！

陶芸教室

初めての方大歓迎！陶芸の先生に丁寧に教わることができますよ！

時間 13:00～16:00

場所 リサイクル石けんセンター

参加費 無料